

2022年度第3回大地沢青少年センター運営委員会 議事概要

日 時：2023年2月4日（土）10時00分から10時50分

場 所：大地沢青少年センター研修棟研修室

出席者：【委員】横溝委員、岡本委員、池口委員、藤村委員、小林委員、桐生委員、
高見委員、菅原委員、中島委員、黒部委員、吉田委員、平田委員

【事業者】NPO国際自然大学校 1名

日本メックス株式会社 4名

【事務局】山岡所長、田中（洋）担当係長、田中（伸）主任

1 開会

委員長 大地沢青少年センター運営委員会を開会します。前回に続き、今回も指定管理者にもご出席いただきたいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。

委員 （異議なし）

委員長 ありがとうございます。指定管理者の方、よろしくお願ひします。
開催にあたり、大地沢青少年センター所長と指定管理者の方ご挨拶お願ひします。

（大地沢青少年センター所長挨拶）

（事業者挨拶）

委員長 経験豊富なパートナーが加わるのは我々としても大変頼もしいです。今後ともよろしくお願ひします。

2 【報告】2022年度の施設運営実績について

委員長 事務局から報告をお願いします。

事務局 （資料1、2、3をもとに説明）

委員長 事務局からの説明について、ご意見等ありましたらお願いします。

委員 （意見なし）

事務局 先ほどの説明に補足します。

はじめに、施設利用者実績についてです。昨年度はまだコロナの影響がありましたので、2022年度実績は、12月末時点の数値で昨年度実績を上回

っています。これを回復してきたと見るか、回復が足りないと見るか、見方は様々あるかと思います。

続いて、主催事業についてです。参加者満足度は高いものでしたが、お越しいただいた方に対するアンケートなので、良い方向に評価するバイアスが働きやすいと思います。そういう目で見てもよいかと思います。

また、申込者数が少ないイベントや、多いイベントがありました。人気の高いイベント回数を増やすこともできたかもしれませんが、人気の低いイベントをまとめることで、多くの方にお越しいただけるのでは等、様々な見方があるかと思います。

また、秋に開催した「たいけん&たんけん大地沢」では、「体験」をコンセプトに掲げてブースを設けたところ、多くの来所者があり、皆さん楽しそうに過ごしていました。これは、イベントのコンセプトが、「大地沢」という場所に対して市民の方が抱くイメージそのものだったためと思います。

委員長 施設利用者とイベント参加者の両方とも人が増えてきたのは、我々としても嬉しいところです。

3 【議題】『Nature Factory 東京町田』の運営について

委員長 事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料4をもとに説明)

委員長 事務局からの説明について、ご意見等ありましたらお願いします。

委員 特別支援学級の宿泊行事でセンターを利用していましたが、困ったのが食材の準備についてでした。新年度からどのように予約すればよいですか。

事務局 軽食等は事前申込になるかと思います。詳細が決まりましたら、教育委員会を通じて、または直接学校にお知らせできればと思います。

委員 利便性はもちろんですが、地元愛が根付いている大地沢なので、ぜひ利用していきたいです。学校利用の際のネックは食材なので、施設で調達していただければと思います。

委員 来年度から、送迎バスの運用はどのようになりますか。

事務局 送迎バスをどのように展開するかは指定管理者次第になりますが、指定管理者の方、いかがでしょうか。

- 事業者 今まで通り運行したいと考えています。
- 委員 相原保善会に林業体験をしていただいているのですが、その際、センターに送迎バスを運行していただいていた。来年度から、どのようになりますか。
- 事務局 相原保善会実施の林業体験について、市と指定管理者がどのように協力していくかという話になりますが、基本的には現状のスタイルを変えたくないと考えています。
- 委員 科学教育センターが利用する場合、利用料金はどのようになりますか。
- 事務局 科学教育センターでの利用について、校長会等でお伝えしているとおおり、現状から扱いを変えない予定です。
- 委員 来年度から10人以上で団体料金になるとのことですが、青少年活動の団体にもかかわらず10人に満たない団体の扱いはどのようになりますか。ボーイスカウトは、学年に応じた活動の仕方があります。年齢が高くなるにつれて高度な野外活動になり、人数が少なくなる傾向があります。その点を考慮していただけますか。
- 事務局 これまでは、青少年活動をしている団体等が対象となる割引制度を設けていました。これからは、10人以上であれば団体料金が適用となるよう考え方を変えます。いただいたお話は理解できるところでことではあるのですが、10人以上かどうかで割引の適否を判断します。
- 事業者 活動に関して支援が必要であれば、体験プログラムを増やしていきますので、ご活用いただければ幸いです。
- 委員長 これからも利用者の方々に喜んでもらえる楽しい施設にしてください。

4 【議題】『Nature Factory 東京町田連絡会（仮称）』について

- 委員長 事務局から説明をお願いします。
- 事務局 「Nature Factory 東京町田連絡会（仮称）」は、地域や利用者の意見が施設運営に反映されるようにするため、指定管理者が市の支援のもとで設置するものです。これは、指定管理者の応募要件の一つにしていま

した。指定管理者が設置して運営するものですので、指定管理者からご説明
いただきたいのですが、よろしいでしょうか。

委員長 分かりました。それでは、指定管理者から説明をお願いします。

事業者 連絡会（仮称）のメンバーについて、運営委員会の皆様にお声がけさせてい
ただきたいと考えています。4月以降になるかと思いますが、改めてご挨拶
をさせていただきます。

事務局 説明に補足します。現行の運営委員会と来年度の連絡会では、性格が異なり
ます。現行の運営委員会では、市がどのように施設運営すべきか、皆さんに
お集まりいただき「こういうことができるのではないか」「市民はこういう
ことを望んでいるよ」等のご意見をいただき、運営していくことが会の目的
のひとつでした。

来年度からの「Nature Factory 東京町田」は、専門性の高い
事業者が運営しますので、連絡会では、きちんと市民の望んでいるものにな
っているかチェックすることや、運営にアドバイスすることが目的になります。
そのため、これまでのような頻度では、会を開催しないと思われま

委員 私は青少年委員という立場で、児童青少年課からの依頼で運営委員会に参加
してきました。会メンバーへの依頼は、今後も児童青少年課経由になります
か。

事業者 現行の運営委員会においては、団体代表としてお越しの方や個人の方等、
様々あるかと思えます。依頼方法については、市と相談します。

委員長 地域全体で、施設のことを考えていくような連絡会にしてください。

5 閉会

委員長

大地沢青少年センターは子どもたちの成長をはぐくむ施設として出発しまし
た。それから30年間で社会情勢も大きく変わり、それに合わせた変化は必
要ということでしょう。ただ、大地沢の自然や、大地沢青少年センターと地
域で築いてきたもの、そういった資産については今後も大切にしてい
たいというのが地域の一員として願うところです。指定管理者の方と、今後も良
い協力関係を築いていきたいと思います。以上で、第3回大地沢青少年センター運
営委員会を閉会します。